

令和5年度 熊本市子ども会育成協議会 総会 報告

令和5年6月11日（日）14：00～16：30 市民会館シアーズホーム夢ホール大会議室にて令和5年度熊本市子ども会育成協議会総会を開催しました。

新型コロナウイルスの感染リスクもかなり減少して、第5類になりましたが、この日は多くの単位子ども会の行事と重なっていたようで委任者が多くなってしまいました。

ご来賓の熊本市長・大西一史様の代理として熊本市文化市民局市民生活部長の石坂強様及び生涯学習課長の石雄一様のご臨席を仰ぎ、無事開催できました。そして、会員の皆様のご協力は元より、理事をはじめ、ユース・リーダーYL、ジュニア・リーダーJLの運営により、予定通りの進行が行われました。

また、関西大学次世代博士研究員・東海大学非常勤講師の田中晶子先生の素晴らしい講演および、貸出用具ポッチャのデモンストレーション（模擬試合）には会員の皆様及び同伴の子どもたちに参加していただき、総会が会員の皆様にとって大変身近で興味深く、より有意義なものとなりました。

施設関係者を初め、総会に関わられた全ての皆様に色々とお協力していただき深く感謝申し上げます。

【総会の概要】 ●司会：飯干ユース・リーダー（YL）



I 開会 1 開会のことば（郷原副会長）

2 会長あいさつ（山本会長）

会長あいさつ

3 来賓祝辞 大西熊本市長（代理：石坂熊本市市民生活部長）

来賓祝辞
（石坂部長）

4 来賓紹介（野元副会長）

5 表彰・表彰者紹介（山本会長、野元・郷原副会長、飯干YL）

受賞者（本日来場者）●個人……黒髪校区3町内子ども会：伊藤忠盛 会長様

●団体……砂取校区7町内子ども会：（会長：中村香苗 様）

西原校区7町内子ども会：（会長：齊藤美由紀様）

田迎南校区4町内子ども会：（副会長：宮本和幸様）

楠校区6町内子ども会：（会長：庄島彩華・石川裕美様）

受賞者（個人）●秋津校区1町内子ども会：宮下博美 会長様

●田迎西校区1町内子ども会：卜部菜美子 会長様

●清水校区北松崎子ども会：田中亜津砂 会長様

●田底校区温泉子ども会：吉津 勇 会長様



表彰

II 議事

1 議長選出 ⇒ 議長：野村理事

2 令和4年度事業実施報告（郷原副会長） JL紹介及び活動報告（加藤JLサブ）

3 令和4年度決算報告（白石事務局長）

4 令和4年度会計監査報告（坂本監事、森監事）

※以上、議事2、3、4の承認

5 会長・副会長・理事紹介（白石事務局長）

6 令和5年度事業計画（案）（山田副会長）

7 令和5年度予算書（案）（白石事務局長）



JL自己紹介



会計監査報告

【質疑】・登録費の件・人数が減っているが、どのくらいの単位子ども会、人数が加入しているか？

【応答】・320単位子ども会（昨年度）、子どもと大人合わせて10,000人位。

（実際は 今年度6月27日現在 301単位子ども会 10,714人）

☆子どもの数が減っているのも原因であるが、それ以上に、子どもの生活（興味関心）の多様

化で、子どもの活動の幅（選択支）が広がっていることが考えられる。

※以上、議事6、7の承認

- 8 その他資料説明・連絡事項・・・会則、個人情報取扱規則、積立金に関する規則、全国子ども会安全共済会、市子協の会員に加入登録、用具貸し出し、HPへの投稿、



- Ⅲ 講演 講師：関西大学次世代博士研究員・東海大学非常勤講師 田中 晶子 先生
 演題：子どもの「やってみたい！」をサポートする大人の役割
 ー自己効力感を育み自律を促す活動に向けてー



☆動機づけ・やる気は子どもたちの学業に関してはもちろん、子ども会活動をはじめ他のあらゆる場面で重要です。先生は大学で「英語学習動機づけ、自己決定理論、内発的・外発的動機づけ、自己効力感」などについて研究をされています。研究に裏打ちされた専門的視点から、高い次元で理論的にそれでいて、私たちにも分かりやすく話して頂きました。

《講演内容のごく一部を紹介》

◇子どもの動機づけのメカニズム

「楽しい」や「ワクワク」とは やる気、動機づけ Motivation の1つ

◇動機づけ・やる気はどんなことに有効か？

- ねばり強さ ○自己効力感 ○エンゲージメント(自発的に自分の力を発揮する貢献意欲)
- 学業成績 ○興味・関心 ○自信 ○自律性 ○メタ認知能力 自己調整

◇自己決定理論

3つの欲求の充足が鍵 ⇒ 満たされることで 「内発的動機づけ」が進む
 自分で決めた！ (やらされた感覚でなく) 「自律性への欲求」
 達成感があった！ (やれたという感覚) 「有能性への欲求」
 お友達と一緒にやった！ 大人が見守っていた 「関係性への欲求」
 (安心できる人と一緒にやったという感覚)

三つの感覚を
満たしてあげて

◇「やってみたい」を高める3つの要素

- 自律支援的態度：・子どもの気持ちを尊重 ・子どもに決めさせる ・励まし、支援する
- 関与：・子どもとの関わりに時間を注ぐ ・子どもを思いやり、協力的でいる
- 構造：・達成できるように環境を整えてあげる 進むべき指標や、効力感を持たせるような情報を与える

◇「できる！」と信じることは魔法の力に 動機づけの先 → 行動の鍵になるのは

◎自己効力感・・・目標を達成するために必要な行動を

実行できると信じる気持ちや自信のこと

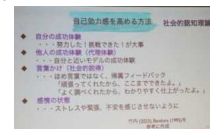
◇自己効力感を高める方法

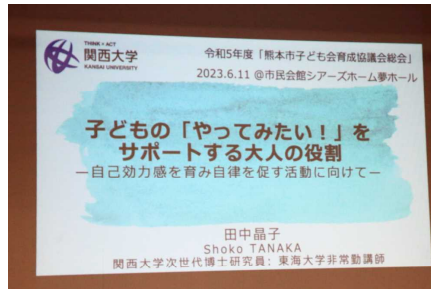
- ◆自分の成功体験 ・努力した！ 挑戦できた！ が大事・・・活動やイベント
- ◆他人の成功体験 ・近いモデルの成功体験・・・HPで他の子ども会の活動のを知る
- ◆言葉かけ・・・「頑張ってくれたから、ここまでできたよ。」・・・大人の声かけ
- ◆感情の状態・・・ストレスや緊張、不安を感じさせないように・・・大人が環境を整えて見守り

◇子ども会活動は 子どもの気持ち「やってみたい」「できるかも」がたくさん芽生える場所

↑身近な大人のサポート、声かけ、見守る

◇子ども会活動の事例から (市子協HP掲載の活動を真似してみよう) **詳しくは講演冊子を**





【質疑】（講師の田中先生の友人で、アメリカ在住の4人のメキシコ人が参観）メキシコの方へ
 ・メキシコでも子ども会みたいのがあるか？ 日本の子ども会をどう見るか？

【応答】（メキシコの方）

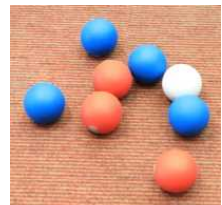
・メキシコでは、地域全体で子どもを育てる文化がある。アメリカではない。アメリカでもメキシコ人が自分たちの文化を大切にしながら子どもを育てていこうとしている。



今年度は外国の方も参加され、質問にも答えて頂いて、国際色豊かになりました。

IV ボッチャデモンストレーション

事前に参加者へ配布していた整理券に基づき、赤、青各3人ずつのチームを2組作り、模擬試合を実施。



青2点で勝ち



V 閉会の言葉 山田副会長